

関係団体等との連携状況について

1. 商工会議所と連携した健康経営の普及促進について

- 都道府県商工会議所連合会・各地商工会議所と協会けんぽ都道府県支部において、中小企業の従業員とそこご家族の健康づくりについて連携を推進し、取組内容の一層の強化・発展に取り組んでいます。
- 千葉県内においては、全21か所の県内商工会議所(連合会含めると22か所)に対して会員事業所に対する健康経営の取り組み状況等についてアンケート調査をした上で、取り組みに前向きな会議所を中心に訪問し、セミナーの共催等の働きかけを実施しました。
(R6年度は銚子、野田商工会議所と健康経営セミナーを共催で実施)

**日本商工会議所**
The Japan Chamber of Commerce and Industry

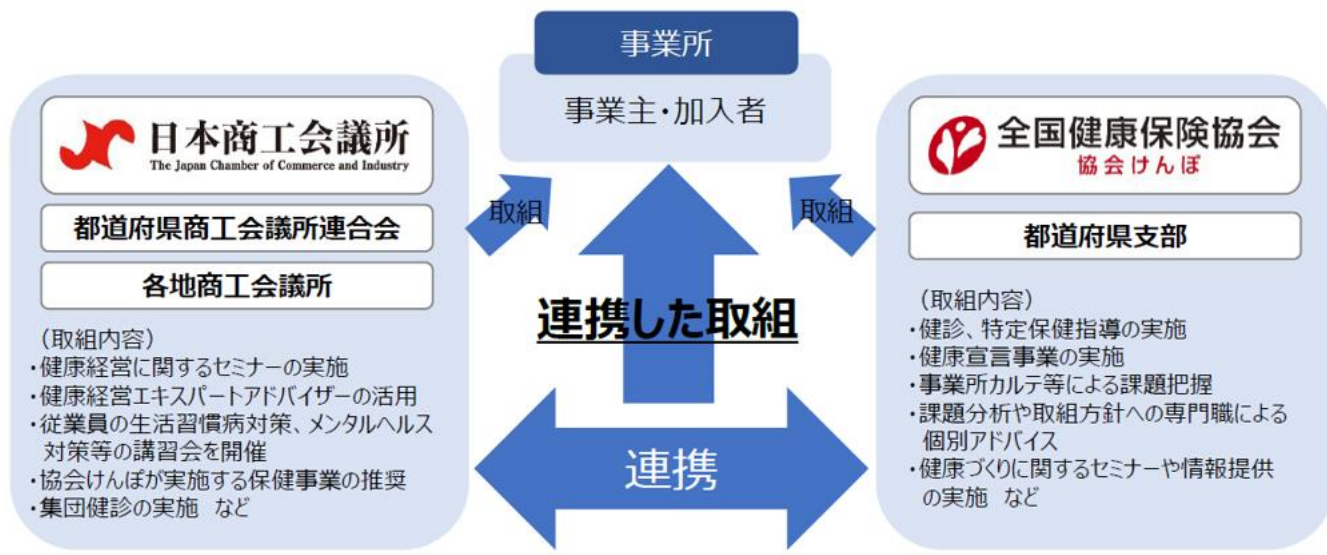
**全国健康保険協会**
協会けんぽ

日本商工会議所×協会けんぽ連携による
コラボヘルスの推進

日本商工会議所
会頭 小林 健

全国健康保険協会
理事長 北川博康

2023年10月4日 日本健康会議



「日本健康会議2023」において、日本商工会議所(小林会頭:写真左)と協会けんぽ(北川理事長:写真右)は、事業所に対する更なる取組を協働して行うことを発表しました。1

2. 千葉市との健康宣言事業の連携について

- 協会けんぽ千葉支部が行っている「健康な職場づくり宣言」と千葉市が行っている「健康づくり推進事業所認証制度」のそれぞれの制度について、令和7年4月より相互乗り入れを開始しました。
- 千葉市内の加入事業所が協会けんぽ千葉支部の「健康な職場づくり宣言」を行うことで、千葉市の「千葉市健康づくり推進事業所」の認証も同時に受けたことになり、両制度の特典が活用できることになりました。

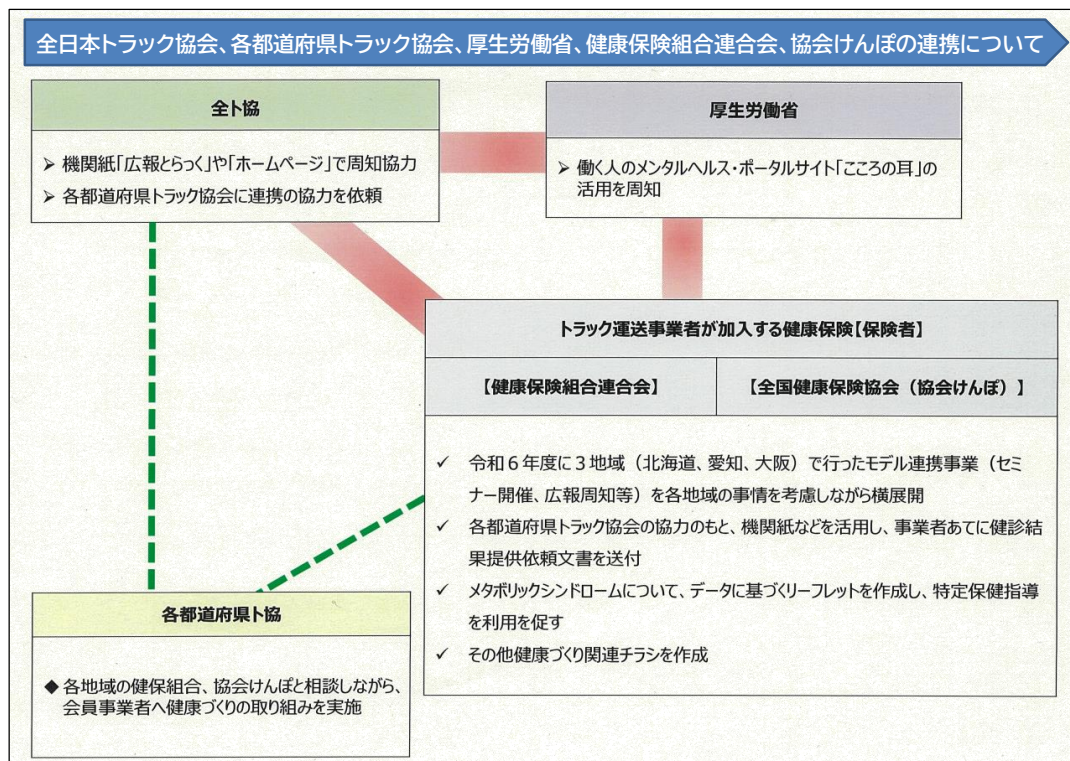
両制度認証・認定事業所数
187社(令和7年6月末現在)

(※)千葉市健康づくり推進事業所認証手続き中の事業所数含む



3. トラック協会と連携した保健事業の推進について

- 各都道府県トラック協会と協会けんぽ都道府県支部において、トラックドライバー等の健康増進対策の取組として、保健事業に関する広報や特定保健指導の利用促進、メンタルヘルス対策を実施しています。
- 千葉県内においては、千葉県トラック協会に働きかけ、トラック協会会報誌(令和7年4月号)へ特定保健指導利用に関する記事を協会けんぽ千葉支部と千葉県トラック健康保険組合との連名で掲載しました。(今後も協会けんぽの保健事業等に関する記事の継続掲載について調整中)



事業主様、事務ご担当者様へ

社員の健康UPに!

特定保健指導をご利用ください

特定保健指導を【受ける】・【受けない】の選択が運命の分かれ道かも?

特定保健指導を受けないと...

生活習慣病が進行し、重症化して合併症も発病するかも

生活習慣病

肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常 など

放置すると...

心筋梗塞・脳卒中・狭心症・人工心臓 など

生活習慣病を放置すると、長期の休業が必要となる可能性も...

傷病手当金の平均支給期間は83.9日

健康診断の結果(心疾患や糖尿病など)に対する傷病手当金の平均支給期間は198.5日

※傷病手当金は...病気などでは事業主様から支給される給付金

特定保健指導を受けると...

生活習慣を見直すきっかけに!

元氣な職場づくりのお手伝いをします

社員が健康になることで会社の生産性アップにも!

特定保健指導はどんな内容?

令和6年度から「腹囲2cm減、体重2kg減」を目標にした取組をサポートします!

目標が具体的だから、やる気が出るね!

COAL!

STEP 1 目標と行動計画の設定

20~30分の初回面談

ライフスタイルや体の状態に合わせて、運動や食事、睡眠、飲酒等の生活習慣の改善に向けた目標を長期的に設定。健康に向けた目標と行動計画を一人一人に即座して一緒に考えます。

STEP 2 3~6ヵ月チャレンジ

行動計画の実践

STEP1で考えた具体的な行動計画を実践。保健師または管理栄養士が応援します。

STEP 3 目標達成のチェック

減量等、目標を達成できたかの確認を行うとともに、引き続きの健康づくりについての相談やアドバイスします。

特定保健指導の案内が届きましたら、該当の方へお送りいただくよう声掛けをお願いします。

全国健康保険協会千葉支部 千葉県トラック健康保険組合

4. 千葉県歯科医師会、株式会社ロッテとの歯・口の健康づくりの推進について

- 一般社団法人千葉県歯科医師会、株式会社ロッテと協会けんぽ千葉支部は、千葉県民の歯及び口腔の健康づくりの推進に向けた取組を通じて、県民の健康的な生活の実現を図るため三者による連携協定を締結しました。
- 協会けんぽ千葉支部の加入者が健診を受けた際に記入いただく問診票の集計結果から噛む能力に不安を感じている方が大変多い傾向ということが確認されており、今後、三者がより一層の協力関係を築き、歯と口の健康づくりの啓発と合わせて、咀嚼能力に関する調査・分析活動にも取り組んでまいります。



協定締結式の様子(令和7年6月23日:千葉県歯科医師会館にて)
(左から)千葉県歯科医師会 大河原会長、協会けんぽ千葉支部 佐藤支部長、(株)ロッテ 高崎執行役員



協会けんぽ千葉支部の健診受診者のうち、**約5人に1人**(※)が食事の際に「噛みづらい」、「ほとんど噛めない」と回答されています。

(※)令和4年度の協会けんぽ千葉支部特定健診質問票結果(対象:40歳以上75歳未満年齢調整後の割合)より集計。健診を受診された方のうち、質問項目「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」のうち、「②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある」又は「③ほとんどかめない」と回答した人数より算出。